

建設経済情報「速報値」(4月報告)

平成20年4月14日
企画部 技術管理課

<東北地方の現況と見通し>

鉱工業生産指数は4.5%低下、有効求人倍率0.00ポイントと横ばいなど、日本銀行の地域経済報告が言う様に、東北地域の景気は、全体としてみれば緩やかな回復を続けている。

一方、公共工事請負金額の総額は東日本建設業保証㈱調べでは減少傾向にあると言われている。こうした中、20年3月は前年同月比11.9%増の1,049億円となった。

1. 東北地方の景気動向

20年2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.8と前年同月比4.5%低下、有効求人倍率(季節調整済)は、0.69倍と前年同月比0.00ポイントと横ばい。

20年3月の景気現状判断(DI)は、35.0と前年同月比15.0ポイント低下。

2. 建設業の動向

20年2月の建設工事受注金額は、前年同月比0.5%の増、建築物着工床面積は前年同月比15.7%の減、新設住宅着工戸数は前年同月比13.3%の減、建設労働需給不足率は1.4%と過剰傾向。

20年3月の全企業倒産は件数で前年同月比30.6%の増、負債額は前年同月比13.9%の増加。

なお、建設業の倒産件数は25件(前年同月比10.7%減)、負債額は22億円(前年同月比65.9%減)と全産業で最多。

目 次

< 施工 >

公共工事請負金額	1
建設工事受注金額	3
建築物着工床面積	5
新設住宅着工戸数	7
19 年度事業費等見込み額	9

< 労働 >

建設労働需給の不足率	10
------------	----

< 倒産 >

企業倒産	11
------	----

< 景気 >

企業短期経済観測	13
----------	----

< 参考：主な経済指標 >

景気現状判断 (DI)

鉱工業生産指数

大型小売店販売額

消費者物価指数

有効求人倍率

完全失業率

輸出入額

施工

1. 公共工事請負金額（20年3月実績。東日本建設業保証）

東北の公共工事請負金額計は、前年同月比で11.9%増の1,049億円となっている。

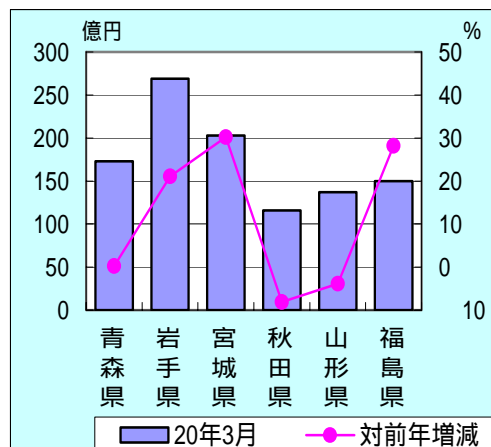
内訳は、県（5.3%減）が減少となっているものの、地方公社（376.1%増）、独立行政法人等（101.1%増）、市町村（27.4%増）、国（7.0%増）が増加となっている。

県別の前年同月比では、秋田県（8.1%減）、山形県（3.9%減）が減少となっているものの、宮城県（30.2%増）、福島県（28.2%増）、岩手県（21.1%増）、青森県（0.2%増）が増加となっている。

公共工事請負金額

単位：億円 %

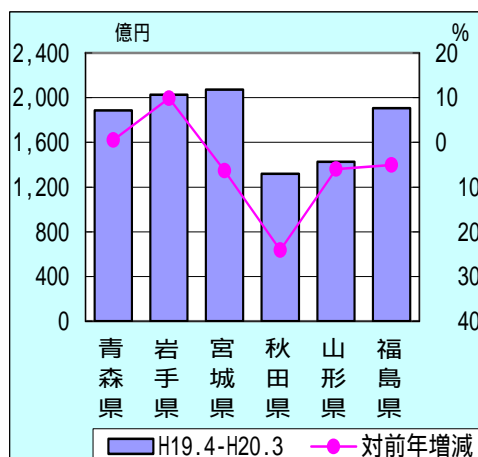
	20年3月	対前年増減
東北計	1,049	+11.9
青森県	173	+0.2
岩手県	269	+21.1
宮城県	203	+30.2
秋田県	116	8.1
山形県	137	3.9
福島県	150	+28.2



公共工事請負金額年度内累計

単位：億円 %

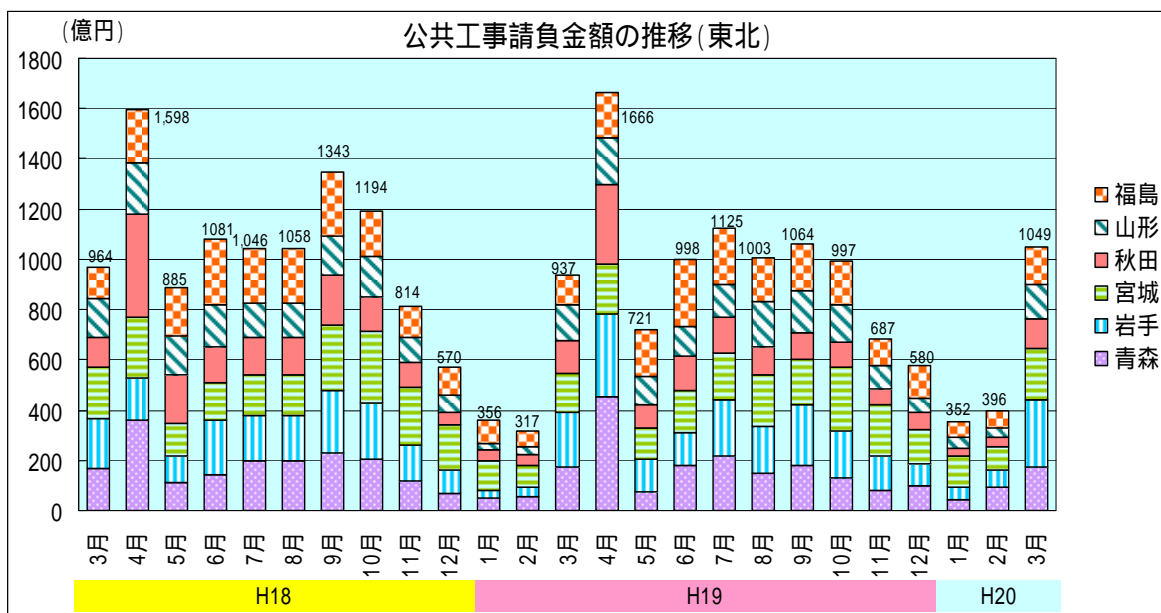
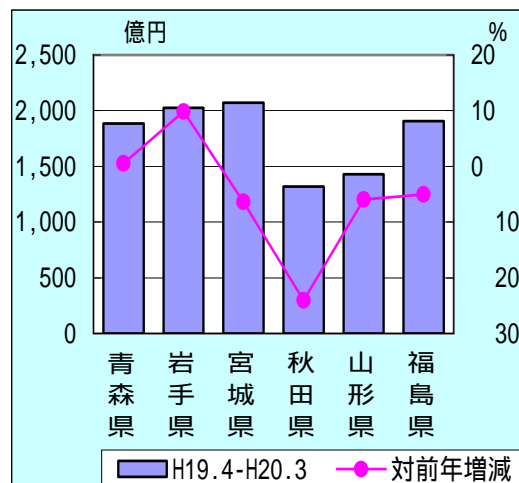
	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	11,198	10,638	5.0
青森県	1,876	1,885	+0.5
岩手県	1,845	2,026	+9.8
宮城県	2,213	2,072	6.4
秋田県	1,738	1,320	24.1
山形県	1,518	1,428	6.0
福島県	2,009	1,908	5.0



公共工事請負金額 1 年累計

単位: 億円 %

	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	11,198	10,638	5.0
青森県	1,876	1,885	+0.5
岩手県	1,845	2,026	+9.8
宮城県	2,213	2,072	6.4
秋田県	1,738	1,320	24.1
山形県	1,518	1,428	6.0
福島県	2,009	1,908	5.0



2. 建設工事受注金額（20年2月実績。国土交通省）

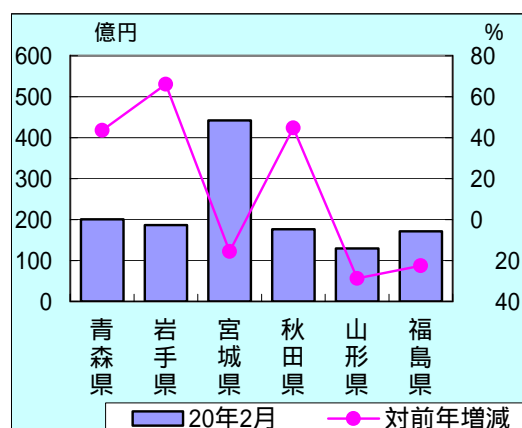
全国の受注高は3兆9,848億円で、前年同月比6.2%増となった。

東北は前年同月比で、山形県（28.7%減）福島県（22.5%減）宮城県（15.5%減）が減少となっているものの、岩手県（66.1%増）秋田県（44.8%増）青森県（43.6%増）が増加となり、全体で0.5%増の1,307億円となった。

建設工事受注金額

単位：億円 %

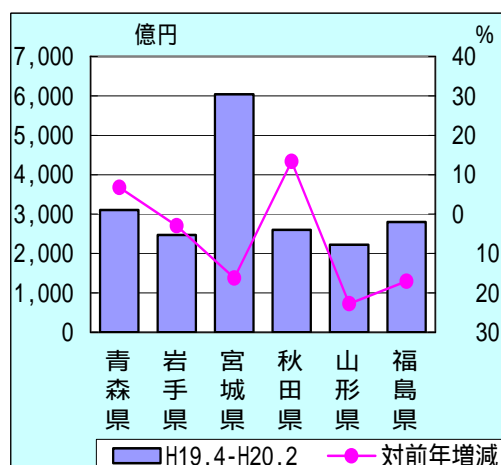
20年2月	受注高計	対前年増減
全 国	39,848	+ 6.2
東北計	1,307	+ 0.5
青森県	201	+ 43.6
岩手県	187	+ 66.1
宮城県	442	15.5
秋田県	176	+ 44.8
山形県	130	28.7
福島県	171	22.5



建設工事受注金額年度内累計

単位：億円 %

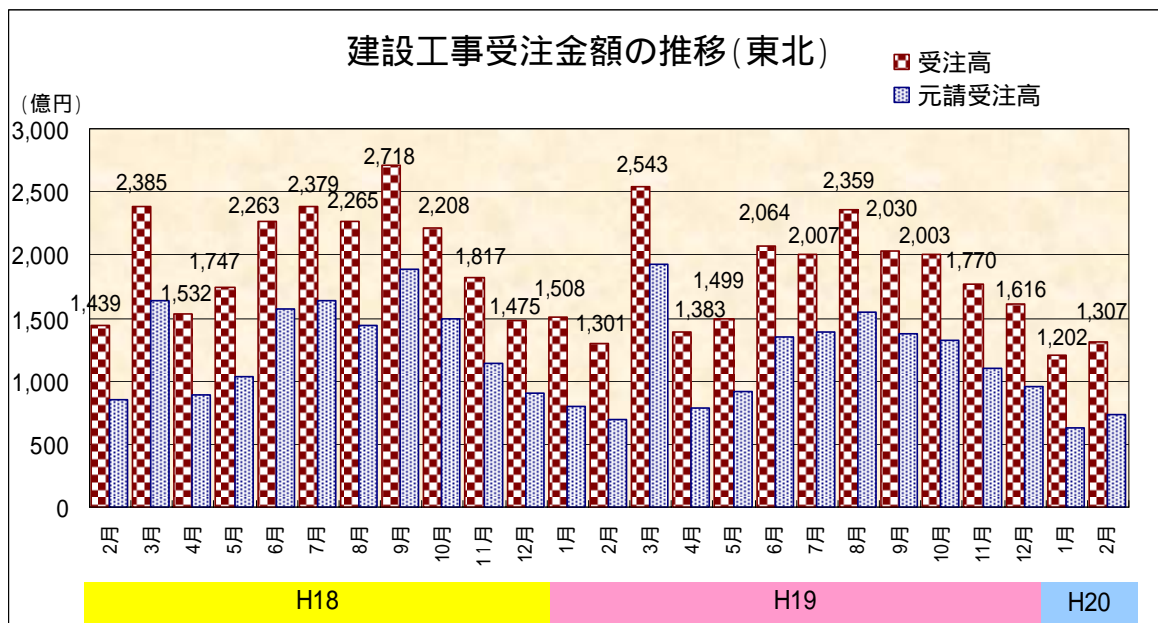
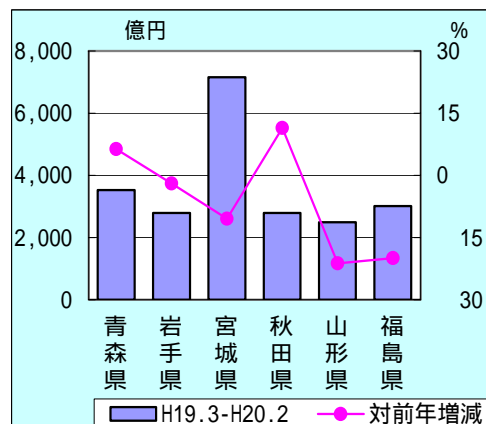
	H18.4-H19.2	H19.4-H20.2	対前年増減
全 国	456,376	465,973	+ 2.1
東北計	21,213	19,240	9.3
青森県	2,908	3,106	+ 6.8
岩手県	2,548	2,473	2.9
宮城県	7,209	6,039	16.2
秋田県	2,291	2,597	+ 13.3
山形県	2,876	2,221	22.8
福島県	3,381	2,804	17.1



建設工事受注金額 1年累計

単位:億円 %

	H18.3-H19.2	H19.3-H20.2	対前年増減
全 国	521,828	529,214	+ 1.4
東北計	23,598	21,783	7.7
青森県	3,318	3,529	+ 6.4
岩手県	2,843	2,787	2.0
宮城県	7,990	7,157	10.4
秋田県	2,508	2,795	+ 11.4
山形県	3,166	2,496	21.2
福島県	3,772	3,018	20.0



3. 建築物着工床面積（20年2月実績。国土交通省）

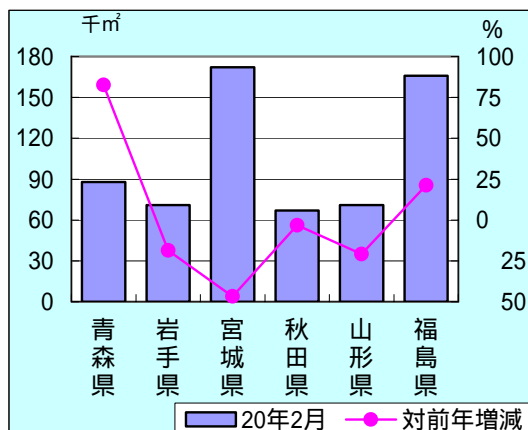
全国の建築物着工床面積は、前年同月比で、非居住用(25.1%減)、居住用(8.0%減)が減少したため、全体では15.0%減の11,267千㎡となった。

東北は前年同月比で、青森県(82.6%増)、福島県(21.3%増)が増加しているものの、宮城県(46.7%減)、山形県(20.8%減)、岩手県(18.6%減)、秋田県(3.1%減)が減少しており、全体では15.7%減の636千㎡となった。

建築物着工床面積

単位:千㎡ %

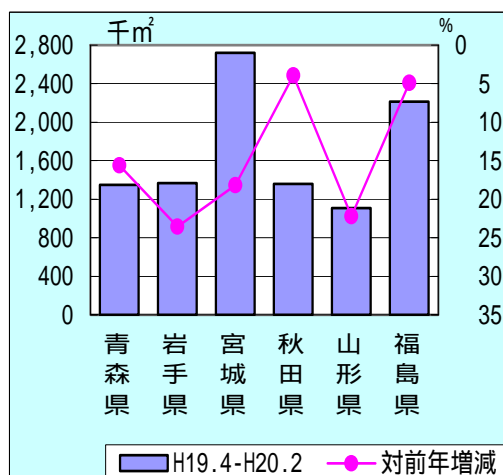
	20年2月	対前年増減
全 国	11,267	15.0
東北計	636	15.7
青森県	88	+82.6
岩手県	71	18.6
宮城県	172	46.7
秋田県	67	3.1
山形県	71	20.8
福島県	166	+21.3



建築物着工床面積年度内累計

単位:千㎡ %

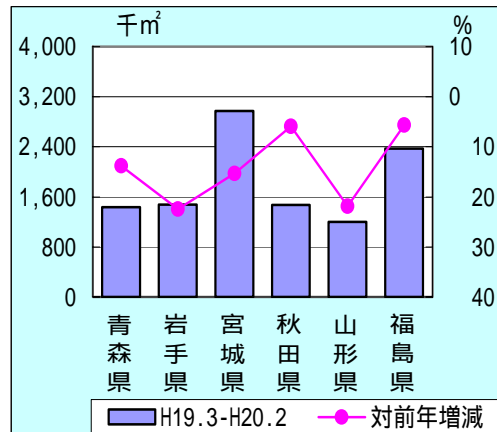
	H18.4-H19.2	H19.4-H20.2	対前年増減
全 国	173,480	143,962	17.0
東北計	11,879	10,116	14.8
青森県	1,601	1,351	15.6
岩手県	1,787	1,366	23.6
宮城県	3,323	2,719	18.2
秋田県	1,417	1,361	4.0
山形県	1,424	1,108	22.2
福島県	2,328	2,214	4.9



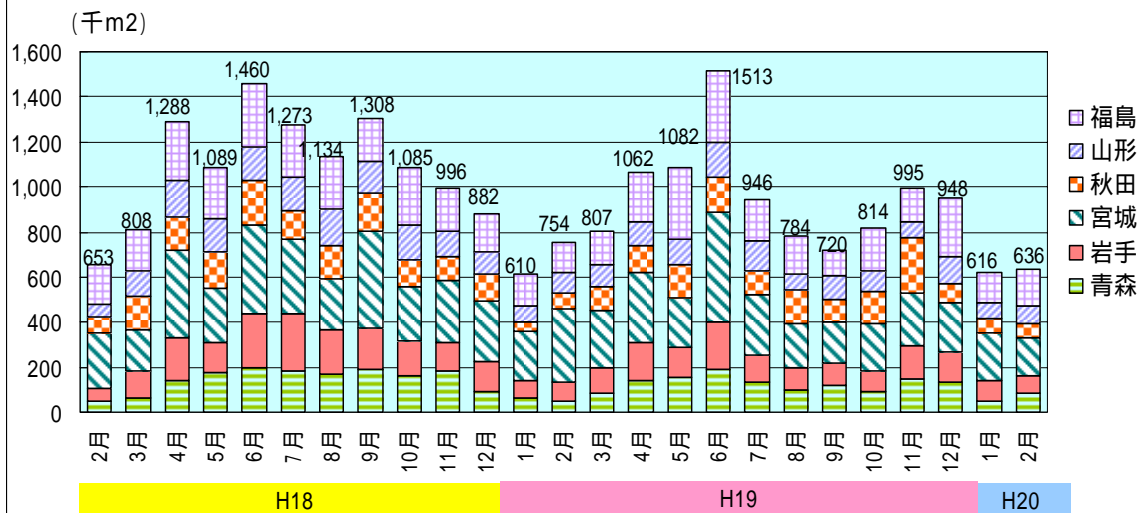
建築物着工床面積 1年累計

単位:千㎡ %

	H18.3-H19.2	H19.3-H20.2	対前年増減
全 国	187,651	157,643	16.0
東北計	12,687	10,923	13.9
青森県	1,664	1,435	13.8
岩手県	1,904	1,477	22.4
宮城県	3,511	2,973	15.3
秋田県	1,563	1,471	5.9
山形県	1,537	1,201	21.9
福島県	2,510	2,369	5.6



建築物着工床面積の推移 (東北)



4. 新設住宅着工戸数 (20年2月実績。国土交通省)

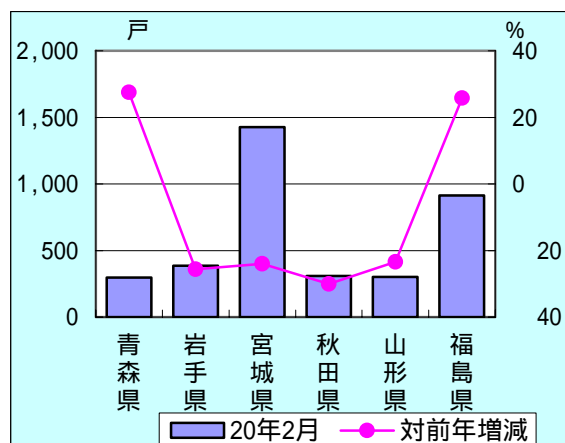
全国の新設住宅着工戸数は、前年同月比で給与住宅(2.7%増)が増加しているものの、分譲住宅(9.7%減) 貸家(3.1%減) 持家(2.1%減)が減少したため、全体では5.0%減の82,962戸となった。

東北は前年同月比で、青森県(27.5%増)、福島県(25.8%増)が増加となっているものの、秋田県(30.0%減) 岩手県(25.6%減) 宮城県(24.0%減) 山形県(23.4%減)が減少となり、全体では13.3%減の3,636戸となった。

新設住宅着工戸数

単位:戸 %

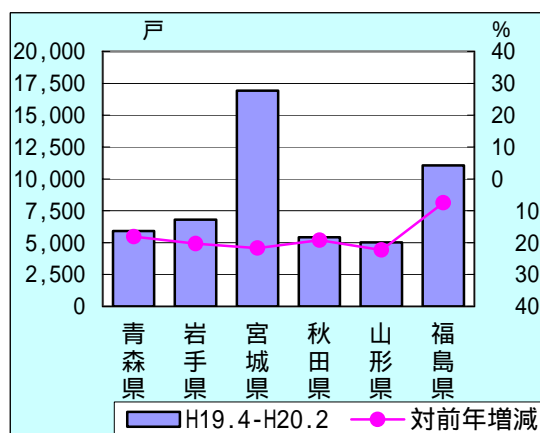
	20年2月	対前年増減
全国	82,962	5.0
東北計	3,636	13.3
青森県	297	+27.5
岩手県	386	25.6
宮城県	1,428	24.0
秋田県	310	30.0
山形県	302	23.4
福島県	913	+25.8



新設住宅着工戸数年度内累計

単位:戸 %

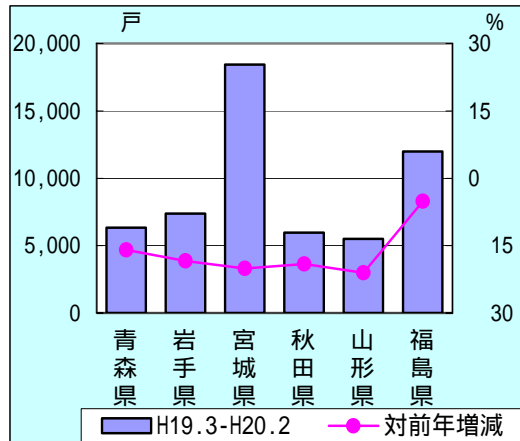
	H18.4-H19.2	H19.4-H20.2	対前年増減
全国	1,185,758	951,607	19.7
東北計	62,509	51,143	18.2
青森県	7,225	5,917	18.1
岩手県	8,550	6,813	20.3
宮城県	21,633	16,930	21.7
秋田県	6,688	5,404	19.2
山形県	6,451	5,011	22.3
福島県	11,962	11,068	7.5



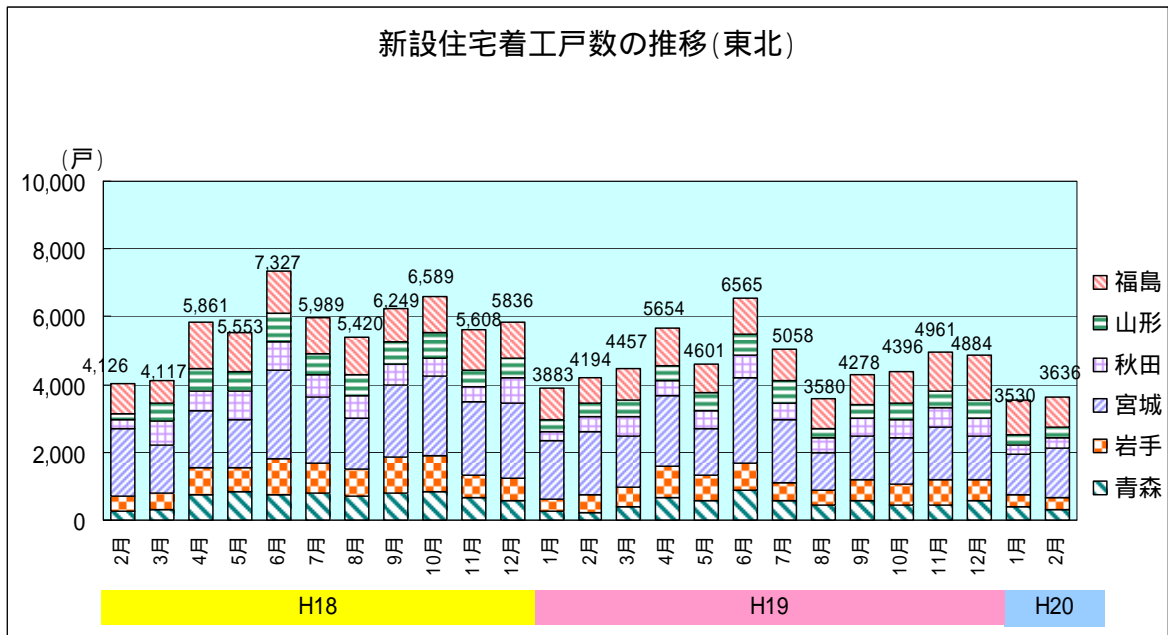
新設住宅着工戸数1年累計

単位:戸 %

	H18.3-H19.2	H19.3-H20.2	対前年増減
全 国	1,279,517	1,051,095	17.9
東北計	66,626	55,600	16.5
青森県	7,531	6,329	16.0
岩手県	9,045	7,378	18.4
宮城県	23,066	18,439	20.1
秋田県	7,360	5,953	19.1
山形県	6,975	5,504	21.1
福島県	12,649	11,997	5.2



新設住宅着工戸数の推移(東北)



5. 19年度事業費等見込み額

(19年12月末見込額。公共事業施行対策東北地方連絡協議会)

19年度における東北全体の事業費は1兆7,838億円、前年度同期比は8.7%減となっている。本工事費は1兆5,943億円、前年度同期比は6.1%減となっている。

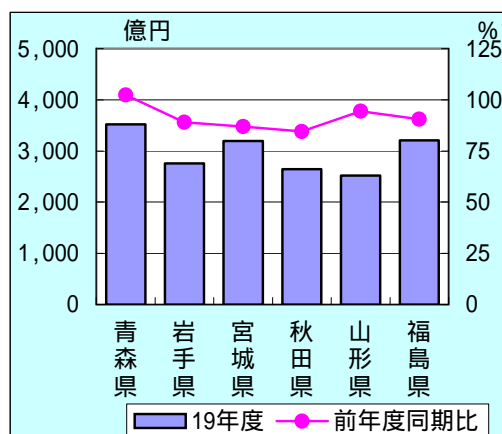
なお、第3四半期まで(4月～12月)の本工事費の発注実績額は、1兆3,216億円となり、発注率は約82.9%となっている。

19年度事業費等見込み額

1) 事業費

単位:億円 %

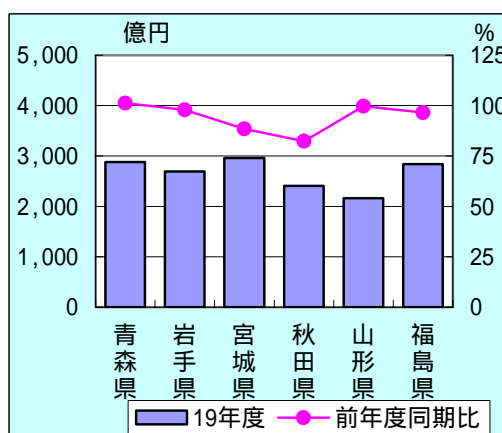
	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	17,838	19,540	91.3
青森県	3,522	3,442	102.3
岩手県	2,755	3,091	89.1
宮城県	3,196	3,678	86.9
秋田県	2,643	3,125	84.6
山形県	2,515	2,665	94.4
福島県	3,207	3,539	90.6



2) 本工事費

単位:億円 %

	19年度	18年度	前年度同期比
東北計	15,943	16,974	93.9
青森県	2,882	2,846	101.3
岩手県	2,694	2,751	97.9
宮城県	2,959	3,344	88.5
秋田県	2,408	2,923	82.4
山形県	2,161	2,167	99.7
福島県	2,840	2,943	96.5



労働

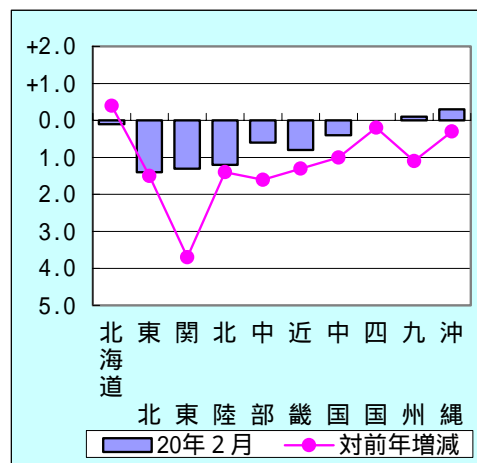
1. 建設労働需給の不足率（20年2月調査。国土交通省）

全国8職種計の不足率（原数値）は、 0.8%と過剰傾向となっている。

東北管内における不足率（原数値）は、 1.4%と過剰傾向となっている。

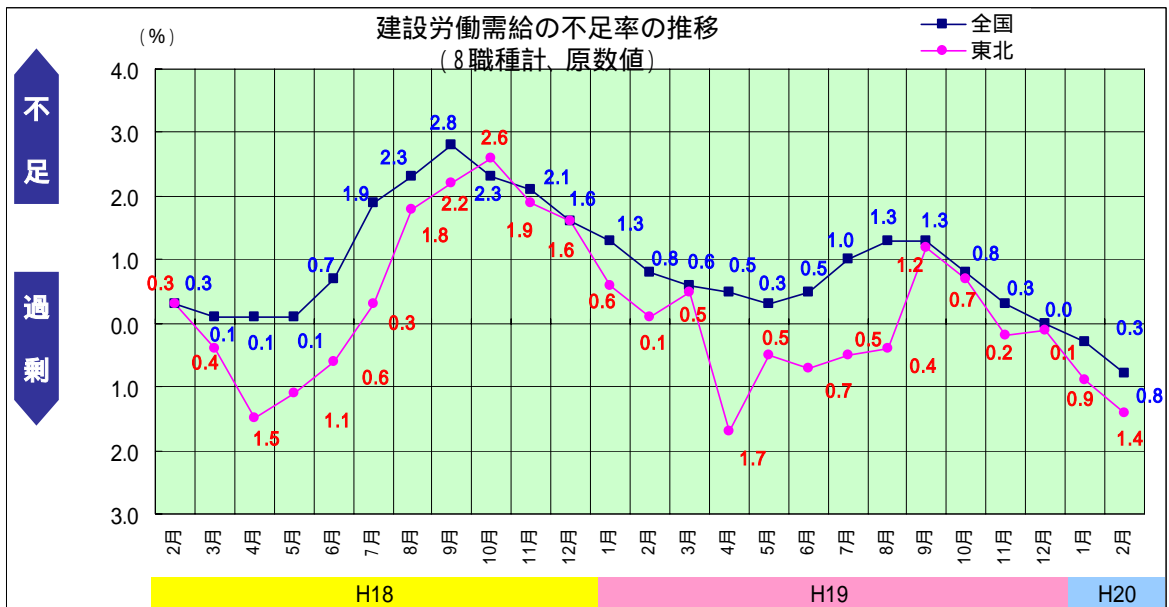
建設労働需給の不足率(8職種計。%)

	20年2月	対前年増減
全国	0.8	1.6
北海道	0.1	+0.4
東北	1.4	1.5
関東	1.3	3.7
北陸	1.2	1.4
中部	0.6	1.6
近畿	0.8	1.3
中国	0.4	1.0
四国	0.0	0.2
九州	+0.1	1.1
沖縄	+0.3	0.3



<備考>

- 1)年月欄のプラスは不足,マイナス(印)は過剰。原数値
- 2)対前年増減欄のプラス(+)は不足の方向へ、マイナス(印)は過剰の方向に変化。
- 3)8職種とは型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)、電工、配管工。



倒産

1. 企業倒産（20年3月実績。負債総額1,000万以上。東京商工リサーチ）

東北の企業倒産状況は件数において前年同月比130.6%の81件となっている。県別では、秋田県(257.1%)、福島県(141.7%)、青森県(128.6%)、宮城県(106.3%)が増加し、山形県(100.0%)、岩手県(100.0%)が横ばいである。

負債額では、宮城県(91.2%)、岩手県(80.3%)、秋田県(56.3%)、山形県(38.4%)が減少となっているものの、青森県(502.3%)、福島県(153.5%)が増加となっており、全体でも13.9%と増加している。

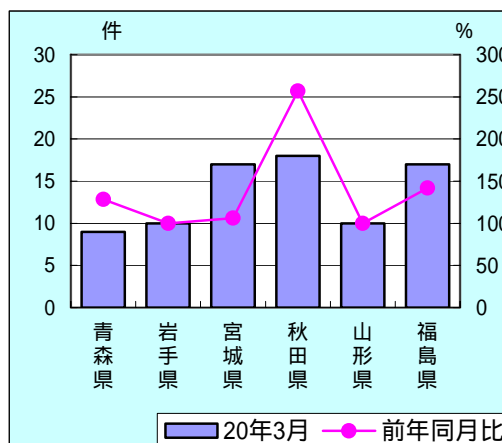
なお、建設業の倒産件数は前年同月比89.3%となっており、全産業で最多の25件となっている。

企業倒産状況

1) 件数

単位:件 %

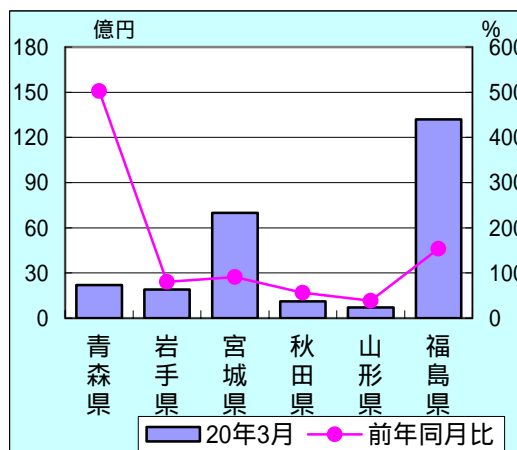
	20年3月	前年同月比
東北計	81	130.6
青森県	9	128.6
岩手県	10	100.0
宮城県	17	106.3
秋田県	18	257.1
山形県	10	100.0
福島県	17	141.7
東北計のうち 建設業	25	89.3

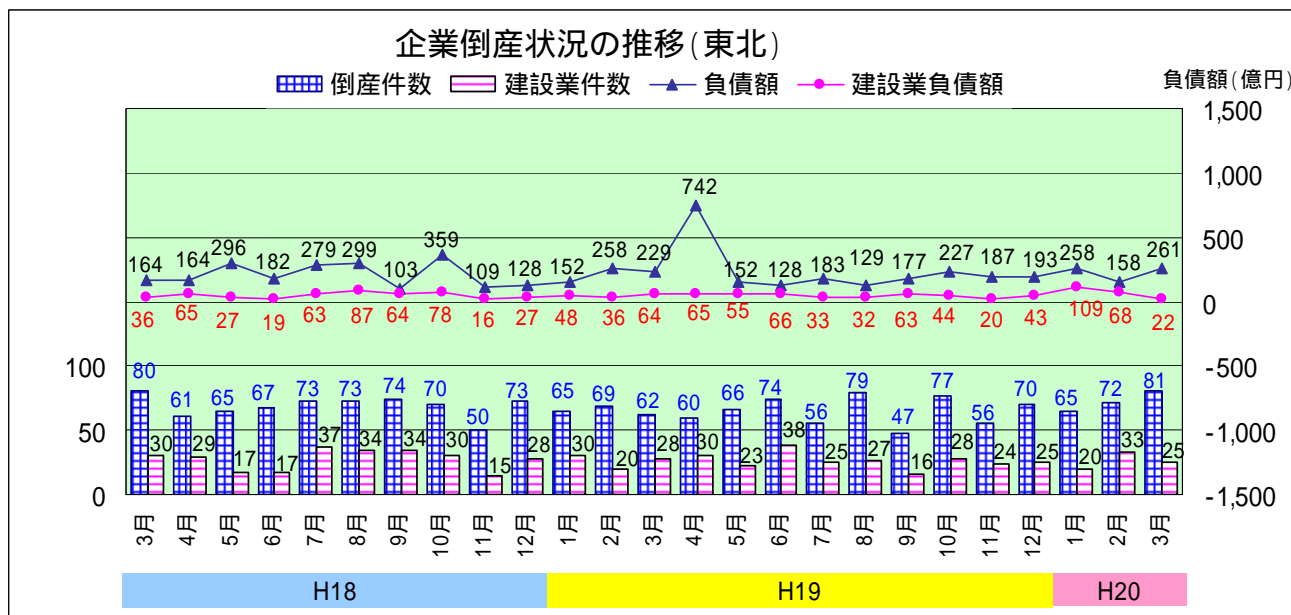


2) 負債額

単位:億円 %

	20年3月	前年同月比
東北計	261	113.9
青森県	22	502.3
岩手県	19	80.3
宮城県	70	91.2
秋田県	11	56.3
山形県	7	38.4
福島県	132	153.5
東北計のうち 建設業	22	34.1





企業倒産件数年度内累計

単位:件 %

	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	802	803	+ 0.1
東北計のうち建設業	319	314	1.6

企業倒産件数1年累計

単位:件 %

	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	802	803	+ 0.1
東北計のうち建設業	319	314	1.6

企業倒産負債額年度内累計

単位:億円 %

	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	2,558	2,795	+ 9.3
東北計のうち建設業	594	620	+ 4.4

企業倒産負債額1年累計

単位:億円 %

	H18.4-H19.3	H19.4-H20.3	対前年増減
東北計	2,558	2,795	+ 9.3
東北計のうち建設業	594	620	+ 4.4

景 気

1. 企業短期経済観測

〔東北地区6県。四半期毎(3、6、9、12月)日本銀行仙台支店〕

2008年3月調査が最新のデータとなっております。

1) 業況判断

製造業については、4と前回調査(+3)に比べ7ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、鉄鋼(46 23)、繊維(0 20)、一般機械(21 6)などが悪化している。
- ・輸送用機械(+34 +50)、化学(22 11)などが改善している。

非製造業については、28と前回調査(21)に比べ7ポイントに悪化している。

- ・これを業種別にみると、飲食店・宿泊(10 32)、リース(0 20)、運輸(18 34)などが悪化している。
- ・一方、情報通信(30 25)が改善している。

先行きは、製造業(4 8)が幾分悪化、非製造業(28 26)が幾分改善が見込まれている。

2) 売上高・経常利益

(1) 2008年度計画

製造業は、売上高は増収(前年度比+3.6%)計画となっているものの、経常利益は減益(前年度比-1.1%)を見込んでいる。

非製造業は、売上高は増収(前年度比+1.4%)計画となっているものの、経常利益は増益(前年度比+11.8%)を見込んでいる。

3) 設備投資額

(1) 2008年度計画

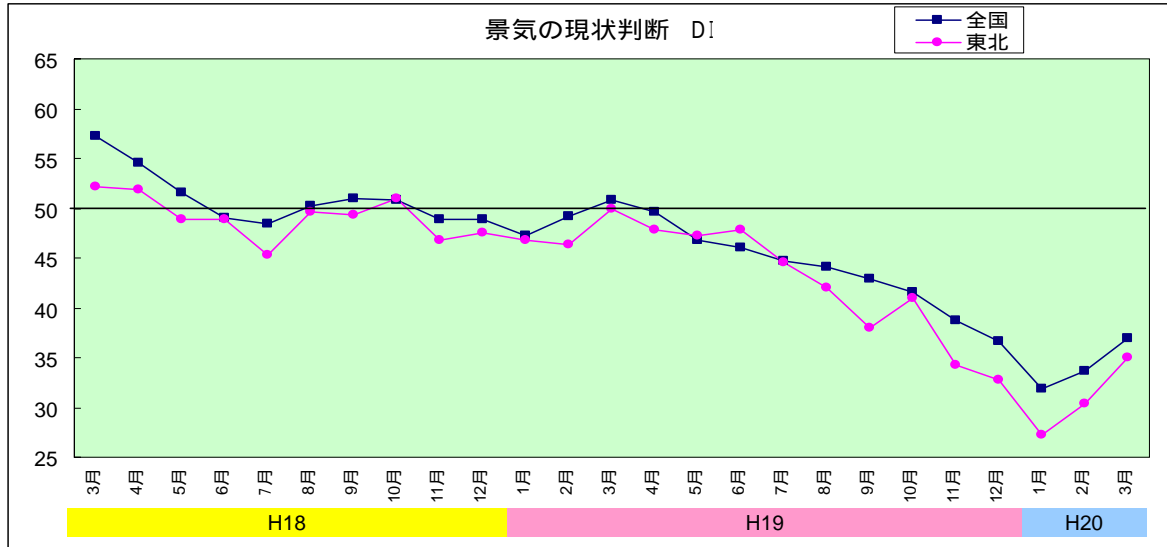
製造業は、前年度比-39.0%の計画となっている。

非製造業は、前年度比+1.1%の計画となっている。

主な経済指標

1. 景気現状判断 DI (20年3月 内閣府 景気ウォッチャー調査)

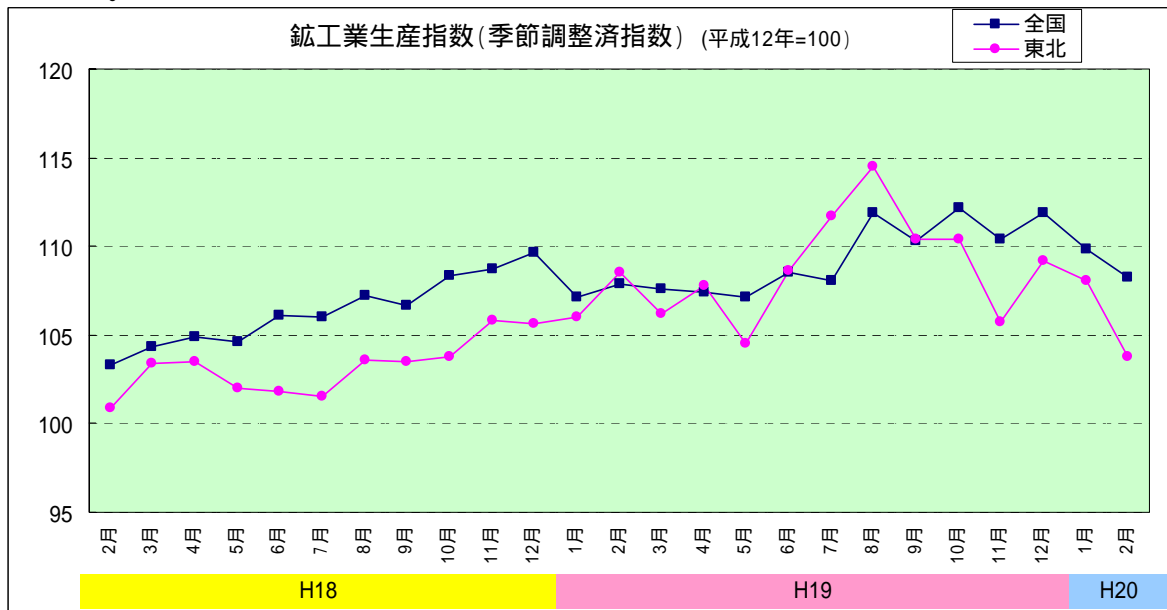
3月の現状判断DIは、35.0で前年同月と比較すると15.0ポイント低下、前月との比較では4.6ポイント上昇している。



DIが50を上回れば景気は「良い」、下回れば「悪い」と判断できる

2. 鉱工業生産指数 (20年2月 東北経済産業局 東北地域鉱工業生産動向)

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.8(前年同月比4.5%低下)となり、2ヶ月連続で低下した。化学工業、精密機械工業、一般機械工業等が低下に寄与した。



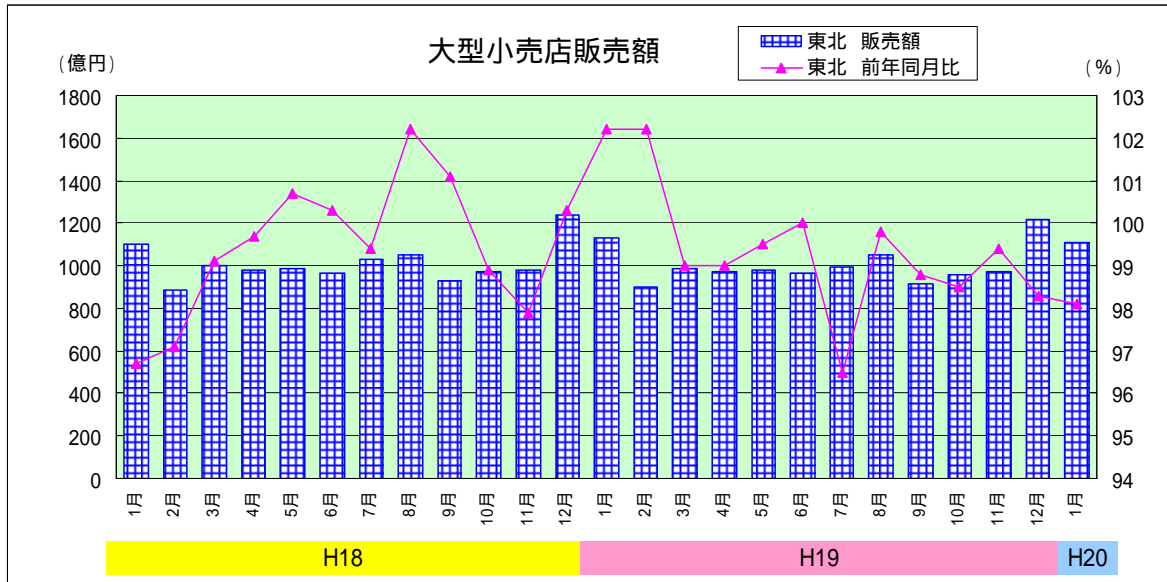
平成12年=100

最新月の値は速報値

値は季節調整済み

3. 大型小売店販売額 (20年1月 東北経済産業局 大型小売店販売額動向)

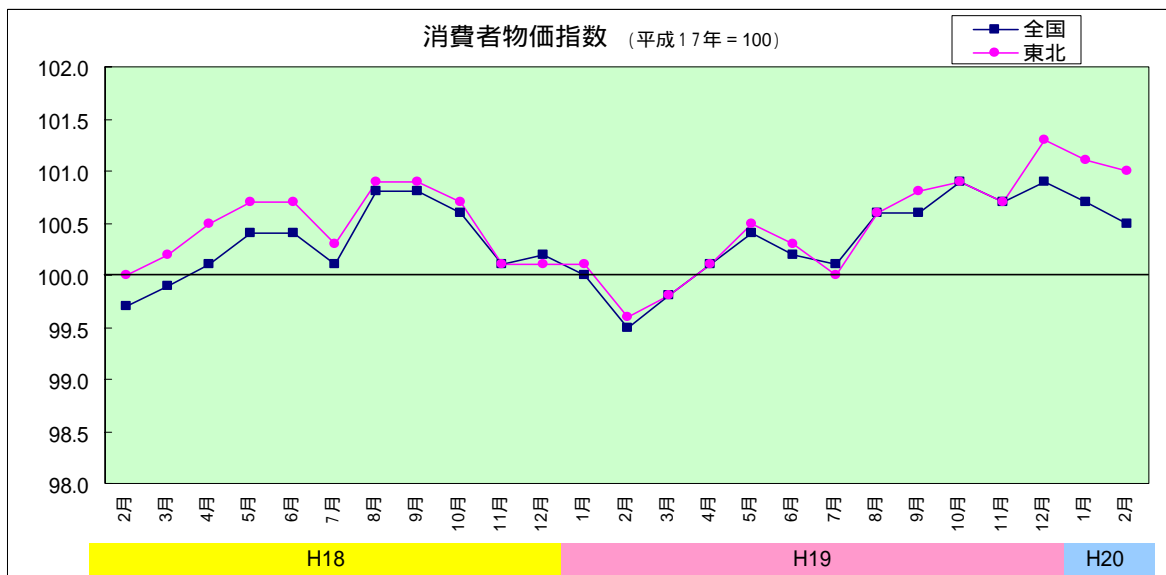
1月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比1.9%減となった。業態別では、百貨店は同9.4%減、スーパーが同0.4%増となった。



値は全店舗ベース

4. 消費者物価指数 (20年2月 総務省 消費者物価指数)

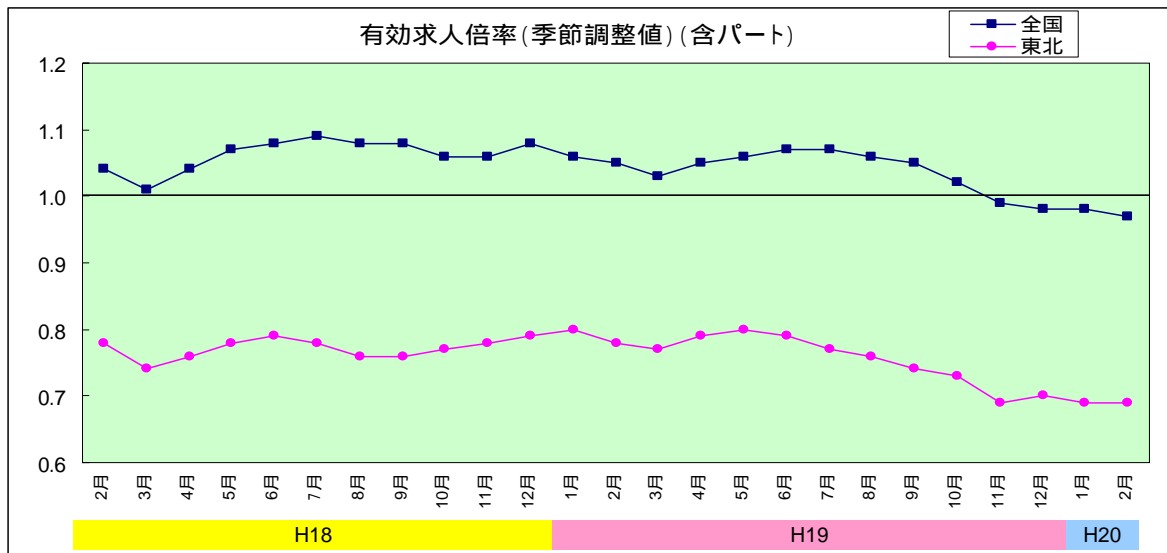
消費者物価指数は、平成17年を100として101.0となり、前月比は0.1%の下落。前年同月比は1.4%の上昇となった。



平成17年=100

5. 有効求人倍率(20年2月 厚生労働省 一般職業紹介状況)

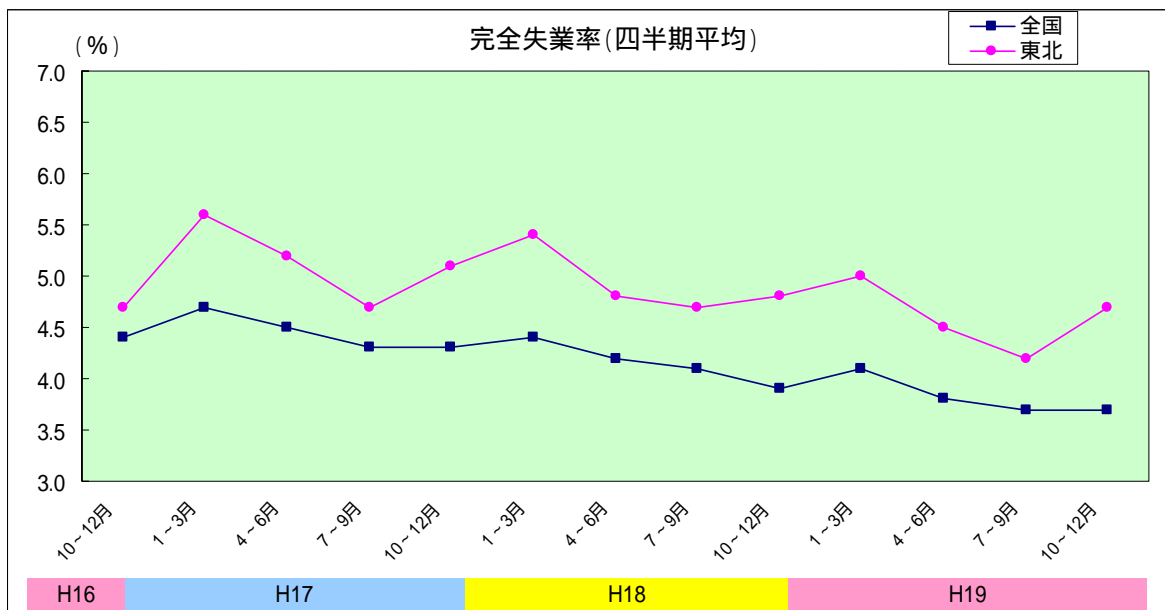
有効求人倍率は、0.69倍(季節調整値)と前月比0.00ポイントと横ばい、前年同月比は0.1ポイントの低下となった。



値は季節調整済み

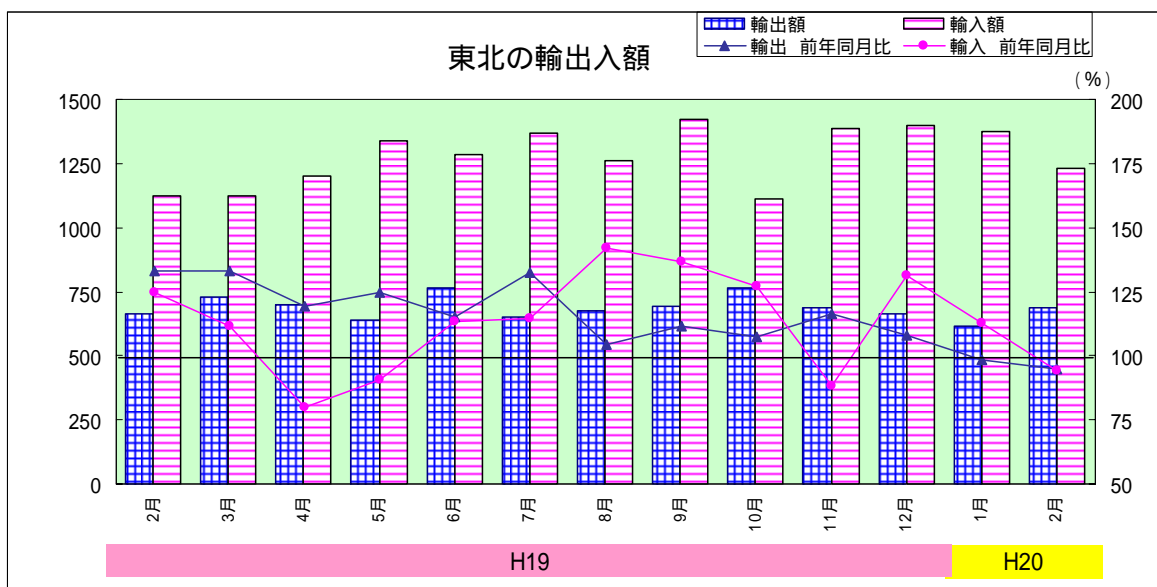
6. 完全失業率(19年10~12月期 総務省 労働力調査)

10~12月期の完全失業率(原数値)は4.7%で前年同期に比べ0.1ポイントの低下となり改善している。



7. 輸出入額（20年2月 横浜、東京、函館税関 貿易統計）

輸出は前年同月比104.0%の688.9億円、輸入では、前年同月比109.6%の1,231.3億円となり、ともに前年同月を上回っている。



値は全て速報値